

田中手帳で工場見学会開催 大阪印関協と共催

近畿印刷産業機材協同組合は6月21日、大阪印刷関連団体協議会との共催で工場見学会を開催。今回は、創業80年を越える老舗の手帳製本会社である田中手帳(株)(大阪市住之江区平林南1-2-52、田中尚寛社長)を訪問した。

同社は手帳に特化した製本ラインを持ち、年間1,000種類以上、1,000万程の手帳を生産している。当日は、その製造工程を見学した。

また、見学会終了後には参加者による交流会も開催され、情報交換・歓談の場が持たれた。



中堅層対象の組織マネジメント学ぶ 生産性向上支援訓練 実施

近畿印刷産業機材協同組合では、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より生産性向上支援訓練に係る事業取組団体の認定を受け、昨年11月に2回、今年2月22日には3回目、そして3月1日に第4回目の生産性向上支援訓練を実施した。場所は(株)モリサワ本社4階(大阪市浪速区敷津東2-6-25)。

今回の訓練分野は、中堅層を対象とした「組織マネジメント~成果を上げる業務改善」。当日は9名が参加し、具体的な業務改善の手法を学んだ。

現状問題	改善の基本方向	期待効果
重要書類の カゲの保管 1人管理 している	マスターキーと スペアキー作成 かぎの管理者が 他者に預ける キーシートの 作り	

恒例のゴルフコンペ 優勝は菅幸男氏(エステック)

組合員交流の場として恒例となった「ゴルフコンペ」が平成31年4月18日、兵庫のセンチュリー三木ゴルフ倶楽部において開催され、15名が参加した。

競技方法はダブルペリア。優勝は、エステック株式会社の菅幸男氏(OUT44、IN48、GROSS92、HDCP18.0、NET74.0)で、ベストGROSSにも、同じくエステック株式会社の菅幸男氏が輝いた。



優勝の菅幸男氏(左)

高野山印刷産業人納骨塔奉賛会 慰霊祭・追悼法要を厳修

高野山印刷産業人納骨塔奉賛会(作道孝行会長)主催(協賛:大阪印刷関連団体協議会)による恒例の「新物故者慰霊祭並びに納骨者・業界物故者追悼法要」が8月24日、高野山大霊園 大阪印刷産業人物故者納骨塔前において厳修された。関連団体代表者をはじめ、遺族、一般参拝者など、およそ140名が参拝に訪れ、納骨塔内で安らかに鎮まる故人の冥福を祈るとともに、遺族の安泰と印刷・関連業界の加護を祈願した。

高野山大霊園の印刷産業人物故者納骨塔は、大阪印刷関連団体協議会加盟の団体が一体となり、昭和48年8月20日に建てられ、その日に開眼大法要が営まれた。以来これを記念して、毎年8月20日前後に「慰霊祭並びに追悼法要」を執り行っており、今年で47回目を数える。

午前11時30分より蓮華院の東山泰清住職を導師として高僧4名を迎えて前讀、散華と法要は進められ、関連団体代表、遺族、そして一般参拝者焼香の長い列が続いた。

本年度慰霊祭の新物故者は関連業界から9名で、100歳代の方が1名、90歳代の方が3名、80歳代の方が3名、70歳代の方

が2名おられ、ご長寿での活躍が偲ばれる。



川面を眺めながらのビアパーティ 75名が親睦深める



近畿印刷産業機材協同組合は8月30日、大阪・中央区の大阪キャッスルホテル3階「錦城閣」において恒例の交流ビアパーティを開催。組合員及び組合員企業の従業員らおよそ75名が出席し、親睦を深めた。

また開会に先立ち開催された令和元年臨時総会では、役員辞任にともなう補欠役員選出の件が審議され、新たに前田弘毅氏(富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株))が選任された。

午後6時、坂本理事長が声高らかに乾杯を発声。会場では、夏の夕暮れに映える大川の川面を眺めながら、ビール片手に組合員企業の従業員同士が歓談する場面も見られ、和やかなムードのもと、参加者は暑い夏の夜のひとときを楽しんだ。